

ダイワ欧州輸出関連株ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	約5年間(2015年6月1日~2020年5月27日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券
	ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	欧州の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)および店頭登録(登録予定を含みます。)(以下「欧州の取引所上場等」といいます。)(以下「欧州の株式等」といいます。) ※欧州の株式等には、欧州を本社所在地とする企業の株式および欧州の取引所上場等の不動産投資信託証券(不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券をいいます。))を含みます。
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、欧州の株式等の中から輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる銘柄に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 欧州の株式等のうち、以下の面で恩恵を受けると考えられる銘柄を投資対象銘柄とします。</p> <p>i. 財・サービス等の輸出</p> <p>ii. 観光など非居住者による欧州域内での需要</p> <p>iii. 特許使用料など知的財産がもたらす国外からの収入等</p> <p>ロ. 投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、株価バリュエーション等を総合的に勘案して、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ. 組入候補銘柄から、国および銘柄の分散、流動性等を考慮してポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※ベビーファンド「為替ヘッジあり」においては、保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

運用報告書(全体版) 第2期 (決算日 2016年5月27日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ欧州輸出関連株ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)」は、このたび、第2期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5664>

<5665>

ダイワ欧州輸出関連株ファンド（為替ヘッジあり）

★為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCIヨーロッパ指数 (配当込み、ユーロベース)		株式 組入比率	株式先物 比率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
1期末(2015年11月27日)	円 9,544	円 0	% △4.6	9,654	% △3.5	% 91.8	% -	百万円 1,709
2期末(2016年5月27日)	8,892	0	△6.8	8,959	△7.2	95.6	-	1,531

(注1) MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

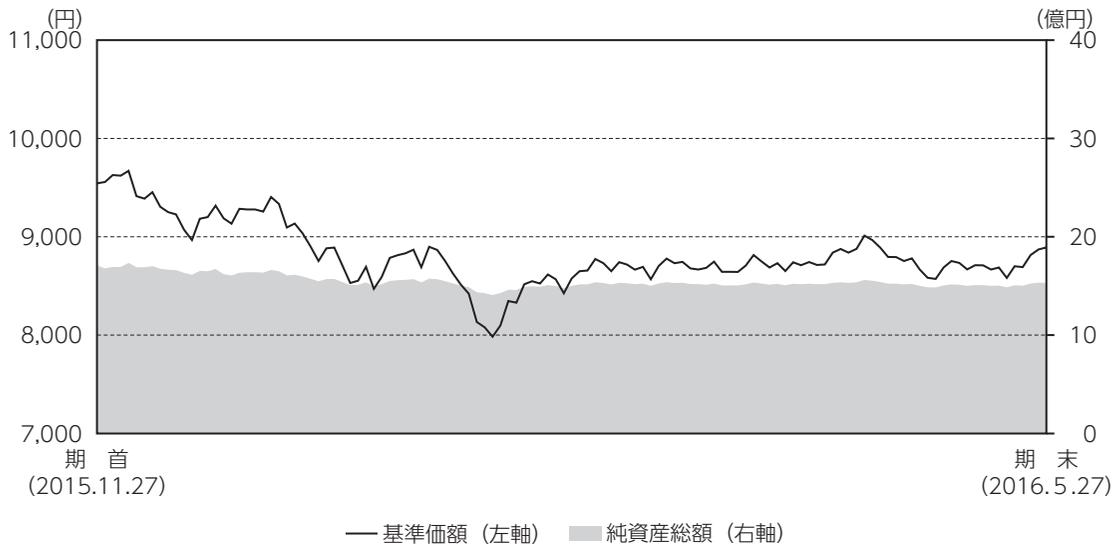
(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：9,544円

期末：8,892円

騰落率：△6.8%

■基準価額の主な変動要因

当期中、中国経済への懸念や不安定な原油価格、ユーロ高米ドル安、英国のEU（欧州連合）離脱問題などが欧州株式への投資を慎重にさせる要因となりました。このような環境の中、保有していた欧州株式が現地通貨建てで下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

ダイワ欧州輸出関連株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ヨーロッパ指数 (配当込み、ユーロベース) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期首) 2015年11月27日	9,544	% -	9,654	% -	% 91.8	% -
11月末	9,557	0.1	9,633	△ 0.2	93.2	-
12月末	9,405	△1.5	9,267	△ 4.0	95.2	-
2016年 1 月末	8,690	△8.9	8,408	△12.9	99.1	-
2 月末	8,650	△9.4	8,350	△13.5	93.6	-
3 月末	8,814	△7.6	8,622	△10.7	96.3	-
4 月末	8,780	△8.0	8,871	△ 8.1	96.1	-
(期末) 2016年 5 月27日	8,892	△6.8	8,959	△ 7.2	95.6	-

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について**○欧州株式市況**

欧州株式市況は、期首より下落しました。2015年12月のECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和策が市場の期待を下回る内容となったことや軟調な原油価格を受けて、株価は下落基調となりました。2016年に入ると、中国の株式および人民元の大幅下落、また原油価格の下落や中東における地政学リスクの高まりなどの悪材料が重なり、軟調な推移が続きました。しかし2月中旬以降は、米国の利上げ観測の後退やECBの追加金融緩和示唆、原油価格の反発、良好な米国経済指標の発表などにより投資家の過度な不安が後退し、株価は反発に転じました。3月には、ECBの追加量的金融緩和策を好感し上昇する局面もありましたが、ドラギ総裁の追加利下げに否定的な発言や米国の追加利上げ観測の後退を受けたユーロ高米ドル安を嫌気し、株式市況は上値の重い展開となりました。4月以降は、中国経済の行方や英国のEU離脱問題、ユーロ相場を意識しながらレンジ内での推移となりました。

前期における「今後の運用方針」**○当ファンド**

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

当ファンドでは、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いません。

○ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

当ファンドは、自国通貨安の恩恵を受けることが期待される銘柄の中から、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。欧州株は、欧州の景気改善やECBの金融政策により堅調な推移が見込まれます。また、米国との金融政策の方向性の違いから、中期的にユーロ安が期待されることも欧州の輸出関連株中心にポジティブな材料と考えられます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

当ファンドでは、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないました。

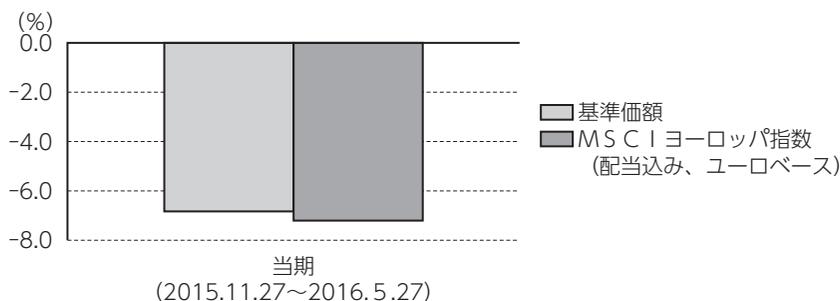
○ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

通貨安によって競争力が向上するなど、自国通貨安の恩恵を受けることが期待される銘柄の中から、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。業種では、家庭用品メーカーやタバコ会社を中心とした生活必需品セクターや、大手製薬会社を中心としたヘルスケアセクター、アパレルメーカーや自動車産業を中心とした一般消費財・サービスセクターを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数には、欧州企業で構成されるMSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）を掲載しております。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年11月28日 ～2016年5月27日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	63

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

当ファンドでは、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いません。

○ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

自国通貨安による競争力向上により企業業績が改善するなど、外需の恩恵により業績の拡大が期待される企業を中心にポートフォリオを構築します。

欧州企業の業績や各国の景気・政治動向、米国の利上げ観測や新興国経済の動向を注視しつつ、適切な銘柄選定のもと運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.11.28~2016.5.27)		
	金 額	比 率	
信託報酬	78円	0.886%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,811円です。
（投信会社）	(38)	(0.430)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(38)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	13	0.150	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(13)	(0.150)	
有価証券取引税	10	0.113	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(10)	(0.113)	
その他費用	3	0.036	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	104	1.185	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年11月28日から2016年5月27日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	260,022	212,500	181,376	155,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年11月28日から2016年5月27日まで)

項 目	当 期
	ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,797,855千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,783,047千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.00

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	1,843,916	1,922,562	1,528,245

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月27日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	1,528,245	97.1
コール・ローン等、その他	44,971	2.9
投資信託財産総額	1,573,216	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月27日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=160.99円、1スイス・フラン=110.99円、1デンマーク・クローネ=16.52円、1スウェーデン・クローネ=13.26円、1ユーロ=122.81円です。

(注3) ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,777,629千円)の投資信託財産総額(1,802,186千円)に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,061,952,188円
コール・ローン等	32,765,586
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド(評価額)	1,528,245,107
未収入金	1,500,941,495
(B) 負債	1,529,985,238
未払金	1,510,854,680
未払解約金	5,358,652
未払信託報酬	13,719,595
その他未払費用	52,311
(C) 純資産総額(A - B)	1,531,966,950
元本	1,722,922,449
次期繰越損益金	△ 190,955,499
(D) 受益権総口数	1,722,922,449□
1万口当り基準価額(C / D)	8,892円

* 期首における元本額は1,791,746,730円、当期中における追加設定元本額は67,415,210円、同解約元本額は136,239,491円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,892円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は190,955,499円です。

ダイワ欧州輸出関連株ファンド（為替ヘッジあり）

■損益の状況

当期 自2015年11月28日 至2016年5月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	185円
受取利息	1,238
支払利息	△ 1,053
(B) 有価証券売買損益	△ 97,721,122
売買益	191,040,602
売買損	△288,761,724
(C) 信託報酬等	△ 13,771,906
(D) 当期繰越損益金(A + B + C)	△111,492,843
(E) 前期繰越損益金	△ 53,891,247
(F) 追加信託差損益金	△ 25,571,409
(配当等相当額)	(217,193)
(売買損益相当額)	(△ 25,788,602)
(G) 合計(D + E + F)	△190,955,499
次期繰越損益金(G)	△190,955,499
追加信託差損益金	△ 25,571,409
(配当等相当額)	(217,193)
(売買損益相当額)	(△ 25,788,602)
分配準備積立金	10,754,393
繰越損益金	△176,138,483

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,754,393円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	217,193
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	10,971,586
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	10,971,586
(h) 受益権総口数	1,722,922,449口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCIヨーロッパ指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式先物 比率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
1期末(2015年11月27日)	円 9,113	円 0	% △ 8.9	9,243	% △ 7.6	% 93.1	% -	百万円 325
2期末(2016年5月27日)	7,866	0	△13.7	8,095	△12.4	95.8	-	269

(注1) MSCIヨーロッパ指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIヨーロッパ指数（配当込み、ユーロベース）は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

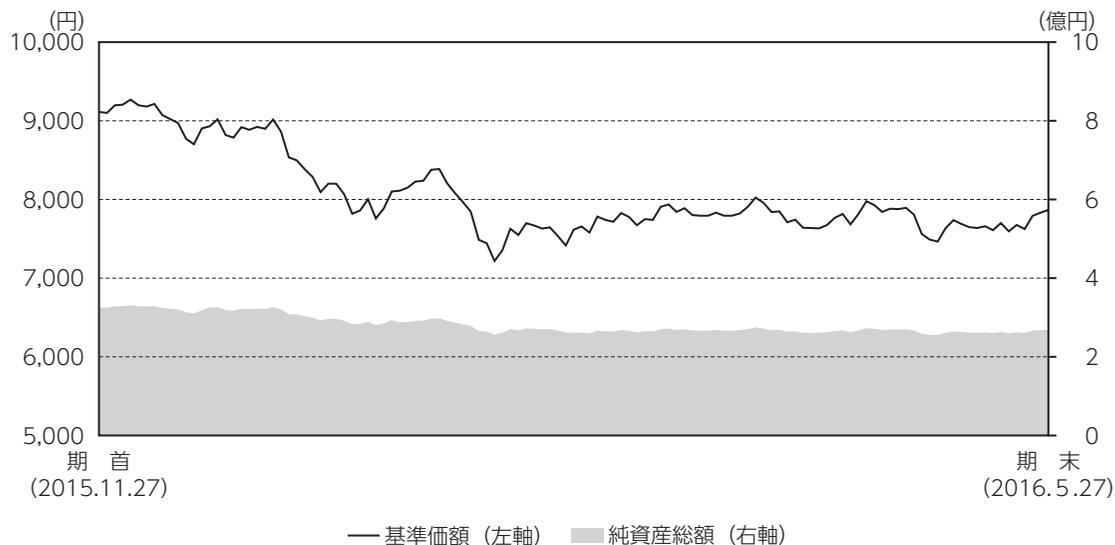
(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：9,113円

期末：7,866円

騰落率：△13.7%

■基準価額の主な変動要因

当期中、中国経済への懸念や不安定な原油価格、ユーロ高米ドル安、英国のEU（欧州連合）離脱問題などが欧州株式への投資を慎重にさせる要因となりました。このような環境の中、保有していた欧州株式が現地通貨建てで下落したことや、為替相場で投資家のリスク回避的な動きからユーロや英ポンドが円に対して下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ヨーロッパ指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比
		騰 落 率		騰 落 率		
(期首) 2015年11月27日	円 9,113	% -	9,243	% -	% 93.1	% -
11月末	9,100	△ 0.1	9,205	△ 0.4	94.3	-
12月末	9,016	△ 1.1	8,984	△ 2.8	96.1	-
2016年 1 月末	8,238	△ 9.6	8,176	△11.5	96.5	-
2 月末	7,656	△16.0	7,624	△17.5	95.4	-
3 月末	8,024	△11.9	8,101	△12.4	95.8	-
4 月末	7,809	△14.3	8,101	△12.4	95.1	-
(期末) 2016年 5 月27日	7,866	△13.7	8,095	△12.4	95.8	-

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○欧州株式市況

欧州株式市況は、期首より下落しました。2015年12月のECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和策が市場の期待を下回る内容となったことや軟調な原油価格を受けて、株価は下落基調となりました。2016年に入ると、中国の株式および人民元の大幅下落、また原油価格の下落や中東における地政学リスクの高まりなどの悪材料が重なり、軟調な推移が続きしました。しかし2月中旬以降は、米国の利上げ観測の後退やECBの追加金融緩和示唆、原油価格の反発、良好な米国経済指標の発表などにより投資家の過度な不安が後退し、株価は反発に転じました。3月には、ECBの追加量的金融緩和策を好感し上昇する局面もありましたが、ドラギ総裁の追加利下げに否定的な発言や米国の追加利上げ観測の後退を受けたユーロ高米ドル安を嫌気し、株式市況は上値の重い展開となりました。4月以降は、中国経済の行方や英国のEU離脱問題、ユーロ相場を意識しながらレンジ内での推移となりました。

○為替相場

為替相場は円高が進行しました。株式市況が軟調な推移となる中、投資家のリスク回避的な動きから円が選好される展開となりました。また英ポンドは、原油安や利上げ観測の後退、英国のEU離脱懸念などを背景に下落しました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

○ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

当ファンドは、自国通貨安の恩恵を受けることが期待される銘柄の中から、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。欧州株は、欧州の景気改善やECBの金融政策により堅調な推移が見込まれます。また、米国との金融政策の方向性の違いから、中期的にユーロ安が期待されることも欧州の輸出関連株中心にポジティブな材料と考えられます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

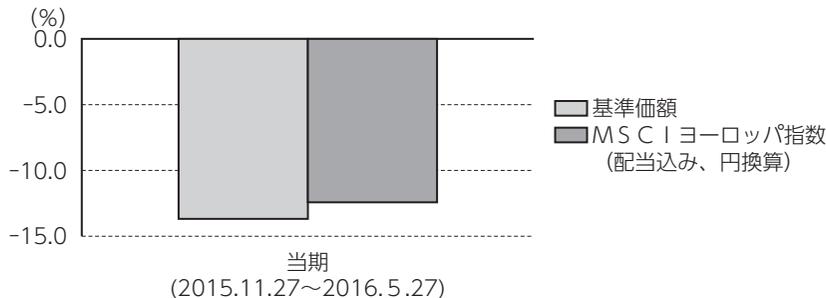
○ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

通貨安によって競争力が向上するなど、自国通貨安の恩恵を受けることが期待される銘柄の中から、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。業種では、家庭用品メーカーやタバコ会社を中心とした生活必需品セクターや、大手製薬会社を中心としたヘルスケアセクター、アパレルメーカーや自動車産業を中心とした一般消費財・サービスセクターを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数には、欧州企業で構成されるMSCIヨーロッパ指数（配当込み、円換算）を掲載しております。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年11月28日 ～2016年5月27日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	53

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れ、輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる株式等の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

○ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

自国通貨安による競争力向上により企業業績が改善するなど、外需の恩恵により業績の拡大が期待される企業を中心にポートフォリオを構築します。

欧州企業の業績や各国の景気・政治動向、米国の利上げ観測や新興国経済の動向を注視しつつ、適切な銘柄選定のもと運用を行なう方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.11.28~2016.5.27)		
	金 額	比 率	
信託報酬	71円	0.886%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,047円です。
（投信会社）	(35)	(0.430)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(35)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	12	0.148	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(12)	(0.148)	
有価証券取引税	9	0.112	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(9)	(0.112)	
その他費用	3	0.035	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	95	1.180	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ欧州輸出関連株ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2015年11月28日から2016年5月27日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	4,621	4,100	22,269	17,200

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2015年11月28日から2016年5月27日まで）

項 目	当 期
	ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,797,855千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,783,047千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.00

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	356,049	338,401	268,995

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月27日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド	268,995	99.0
コール・ローン等、その他	2,581	1.0
投資信託財産総額	271,576	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月27日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド＝160.99円、1スイス・フラン＝110.99円、1デンマーク・クローネ＝16.52円、1スウェーデン・クローネ＝13.26円、1ユーロ＝122.81円です。

（注3）ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,777,629千円）の投資信託財産総額（1,802,186千円）に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	271,576,865円
コール・ローン等	2,581,184
ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド(評価額)	268,995,681
(B) 負債	2,512,590
未払信託報酬	2,505,079
その他未払費用	7,511
(C) 純資産総額(A - B)	269,064,275
元本	342,063,775
次期繰越損益金	△ 72,999,500
(D) 受益権総口数	342,063,775□
1万口当り基準価額(C / D)	7,866円

*期首における元本額は357,174,860円、当期中における追加設定元本額は8,349,364円、同解約元本額は23,460,449円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は7,866円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は72,999,500円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月28日 至2016年5月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 9円
受取利息	105
支払利息	△ 114
(B) 有価証券売買損益	△39,902,854
売買益	2,862,291
売買損	△42,765,145
(C) 信託報酬等	△ 2,512,590
(D) 当期繰越損益金(A + B + C)	△42,415,453
(E) 前期繰越損益金	△28,287,262
(F) 追加信託差損益金	△ 2,296,785
(配当等相当額)	(25,640)
(売買損益相当額)	(△ 2,322,425)
(G) 合計(D + E + F)	△72,999,500
次期繰越損益金(G)	△72,999,500
追加信託差損益金	△ 2,296,785
(配当等相当額)	(25,640)
(売買損益相当額)	(△ 2,322,425)
分配準備積立金	1,795,594
繰越損益金	△72,498,309

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,795,594円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	25,640
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,821,234
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,821,234
(h) 受益権総口数	342,063,775口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

運用報告書 第2期（決算日 2016年5月27日）

（計算期間 2015年11月28日～2016年5月27日）

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンドの第2期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	欧州の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）（以下「欧州の取引所上場等」といいます。）の株式等（以下「欧州の株式等」といいます。） ※欧州の株式等には、欧州を本社所在地とする企業の株式および欧州の取引所上場等の不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券をいいます。）を含みます。
運用方法	①主として、欧州の株式等の中から輸出に代表される外需の面で恩恵を受けると考えられる銘柄に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 イ. 欧州の株式等のうち、以下の面で恩恵を受けると考えられる銘柄を投資対象銘柄とします。 i. 財・サービス等の輸出 ii. 観光など非居住者による欧州域内での需要 iii. 特許使用料など知的財産がもたらす国外からの収入 等 ロ. 投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、株価バリュエーション等を総合的に勘案して、組入候補銘柄を選定します。 ハ. 組入候補銘柄から、国および銘柄の分散、流動性等を考慮してポートフォリオを構築します。 ③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

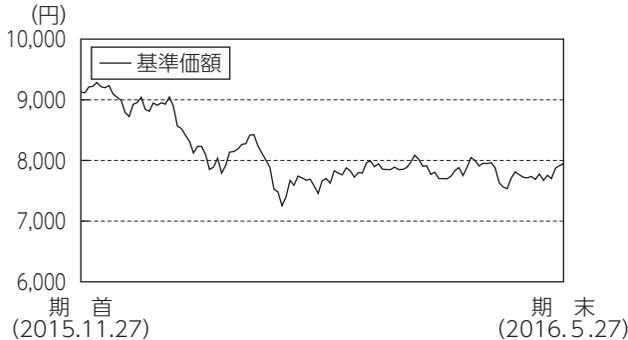
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		MSCIヨーロッパ指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株式先物 比
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
(期首)2015年11月27日	9,127	-	9,243	-	93.3	-
11月末	9,115	△ 0.1	9,205	△ 0.4	94.5	-
12月末	9,045	△ 0.9	8,984	△ 2.8	96.3	-
2016年1月末	8,276	△ 9.3	8,176	△11.5	96.7	-
2月末	7,703	△15.6	7,624	△17.5	95.5	-
3月末	8,086	△11.4	8,101	△12.4	95.8	-
4月末	7,880	△13.7	8,101	△12.4	95.1	-
(期末)2016年5月27日	7,949	△12.9	8,095	△12.4	95.9	-

(注1) MSCIヨーロッパ指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIヨーロッパ指数(配当込み、ユーロベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIヨーロッパ指数(配当込み、ユーロベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,127円 期末：7,949円 騰落率：△12.9%

【基準価額の主な変動要因】

当期中、中国経済への懸念や不安定な原油価格、ユーロ高米ドル安、英国のEU(欧州連合)離脱問題などが欧州株式への投資を慎重にさせる要因となりました。このような環境の中、保有していた欧州株式が現地通貨建てで下落したことや、為替相場で投資家のリスク回避的な動きからユーロや英ポンドが円に対して下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○欧州株式市況

欧州株式市況は、期首より下落しました。2015年12月のECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和策が市場の期待を下回る内容となったことや軟調な原油価格を受けて、株価は下落基調となりました。2016年に入ると、中国の株式および人民元の大幅下落、また原油価格の下落や中東における地政学リスクの高まりなどの悪材料

が重なり、軟調な推移が続きました。しかし2月中旬以降は、米国の利上げ観測の後退やECBの追加金融緩和示唆、原油価格の反発、良好な米国経済指標の発表などにより投資家の過度な不安が後退し、株価は反発に転じました。3月には、ECBの追加量的金融緩和策を好感し上昇する局面もありましたが、ドラギ総裁の追加利下げに否定的な発言や米国の追加利上げ観測の後退を受けたユーロ高米ドル安を嫌気し、株式市況は上値の重い展開となりました。4月以降は、中国経済の行方や英国のEU離脱問題、ユーロ相場を意識しながらレンジ内の推移となりました。

○為替相場

為替相場は円高が進行しました。株式市況が軟調な推移となる中、投資家のリスク回避的な動きから円が選好される展開となりました。また英ポンドは、原油安や利上げ観測の後退、英国のEU離脱懸念などを背景に下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドは、本国通貨安の恩恵を受けることが期待される銘柄の中から、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。欧州株は、欧州の景気改善やECBの金融政策により堅調な推移が見込まれます。また、米国との金融政策の方向性の違いから、中期的にユーロ安が期待されることも欧州の輸出関連株中にポジティブな材料と考えられます。

◆ポートフォリオについて

通貨安によって競争力が向上するなど、本国通貨安の恩恵を受けることが期待される銘柄の中から、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。業種では、家庭用品メーカーやタバコ会社を中心とした生活必需品セクターや、大手製薬会社を中心としたヘルスケアセクター、アパレルメーカーや自動車産業を中心とした一般消費財・サービスセクターを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数には、欧州企業で構成されるMSCIヨーロッパ指数(配当込み、円換算)を掲載しております。

《今後の運用方針》

本国通貨安による競争力向上により企業業績が改善するなど、外需の恩恵により業績の拡大が期待される企業を中心にポートフォリオを構築します。

欧州企業の業績や各国の景気・政治動向、米国の利上げ観測や新興国経済の動向を注視しつつ、適切な銘柄選定のもと運用を行なう方針です。

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	12円 (12)
有価証券取引税 (株式)	9 (9)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合計	24

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株式

(2015年11月28日から2016年5月27日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外	イギリス	百株	千イギリス・ポンド 1,726 (△ 9.84)	百株	千イギリス・ポンド 2,491 ()
				809.16	980
	スイス	百株	千スイス・フラン 72 ()	百株	千スイス・フラン 716 ()
				60	468
デンマーク	百株	千デンマーク・クローネ 39 ()	百株	千デンマーク・クローネ 1,948 ()	
			60	2,401	
国	スウェーデン	百株	千スウェーデン・クローネ 310 ()	百株	千スウェーデン・クローネ 4,391 ()
			305	5,906	

■主要な売買銘柄

株式

(2015年11月28日から2016年5月27日まで)

当					期				
銘柄	柄	買付			売付				
		株数	金額	平均単価	株数	金額	平均単価		
GLAXOSMITHKLINE PLC (イギリス)		千株	千円	円	ASHTEAD GROUP PLC (イギリス)	千株	千円	円	
		30	68,956	2,298		38.2	60,419	1,581	
ASTRAZENECA PLC (イギリス)		8.4	63,900	7,607	DAIMLER AG-REGISTERED SHARES (ドイツ)	6.8	55,623	8,179	
NOVARTIS AG-REG (スイス)		6.5	60,422	9,295	NOVARTIS AG-REG (スイス)	6	53,422	8,903	
DIAGEO PLC (イギリス)		20	57,733	2,886	SAFRAN SA (フランス)	6.6	47,805	7,243	
IMPERIAL BRANDS PLC (イギリス)		9.2	56,328	6,122	INDUSTRIA DE DISENO TEXTIL (スペイン)	12.9	47,194	3,658	
SIEMENS AG-REG (ドイツ)		4.5	52,602	11,689	LUXOTTICA GROUP SPA (イタリア)	7.6	46,006	6,053	
NOKIA OYJ (フィンランド)		58	50,180	865	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI (フランス)	2.2	39,818	18,099	
BAE SYSTEMS PLC (イギリス)		57	48,503	850	BAYER AG-REG (ドイツ)	2.8	39,817	14,220	
SVENSKA CELLULOSA AB SCA-B (スウェーデン)		11	37,985	3,453	ASSA ABLOY AB-B (スウェーデン)	20	39,793	1,989	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI (フランス)		1.9	35,755	18,818	CAPGEMINI (フランス)	3.7	35,468	9,586	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は四捨五入。

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外	ユーロ (アイルランド)	百株 40 ()	千ユーロ 69 ()	百株 -	千ユーロ -
	ユーロ (オランダ)	百株 30 ()	千ユーロ 185 ()	106.84	230
	ユーロ (ベルギー)	百株 6 ()	千ユーロ 67 ()	百株 -	千ユーロ -
	ユーロ (フランス)	百株 90 ()	千ユーロ 829 ()	197	1,570
	ユーロ (ドイツ)	百株 137 ()	千ユーロ 1,032 (△ 10)	117.7	1,061
	ユーロ (スペイン)	百株 170 ()	千ユーロ 185 ()	129	375
	ユーロ (イタリア)	百株 - ()	千ユーロ - ()	76	370
	ユーロ (フィンランド)	百株 580 ()	千ユーロ 380 ()	200	116
	ユーロ (オーストリア)	百株 58 ()	千ユーロ 258 ()	50	224
	国	ユーロ (ユーロ 通貨計)	百株 1,111 ()	千ユーロ 3,007 (△ 10)	876.54

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は四捨五入。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千円		
TUI AG-DI	—	150	155	25,090	一般消費財・サービス
BAE SYSTEMS PLC	—	570	274	44,257	資本財・サービス
GLAXOSMITHKLINE PLC	—	300	437	70,368	ヘルスケア
ULTRA ELECTRONICS HLDGS PLC	—	60	104	16,845	資本財・サービス
INTL CONSOLIDATED AIRLINE-DI	237	187	101	16,392	資本財・サービス
DIAGEO PLC	—	200	373	60,113	生活必需品
SMITH & NEPHEW PLC	—	60	70	11,340	ヘルスケア
BUNZL PLC	187	187	376	60,631	資本財・サービス
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	76	76	523	84,215	生活必需品
ASTRAZENECA PLC	—	84	336	54,248	ヘルスケア
WOLSELEY PLC	38	—	—	—	資本財・サービス
ASHTREAD GROUP PLC	332	—	—	—	資本財・サービス
IMPERIAL BRANDS PLC	—	92	346	55,822	生活必需品
ARM HOLDINGS PLC	150	—	—	—	情報技術
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	20	40	167	26,949	生活必需品
SHIRE PLC	14	44	191	30,806	ヘルスケア
INTERCONTINENTAL HOTELS GROU	89	—	—	—	一般消費財・サービス
イギリス・ポンド 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,143 9銘柄	2,050 13銘柄	3,460 557,083	557,083 <31.0%>
(スイス)	百株	百株	千円		
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	39	42	1,063	118,031	ヘルスケア
NESTLE SA-REG	70	70	519	57,687	生活必需品
NOVARTIS AG-REG	50	55	436	48,438	ヘルスケア
STRAUMANN HOLDING AG-REG	—	4	151	16,814	ヘルスケア
スイス・フラン 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	159 3銘柄	171 4銘柄	2,171 240,972	240,972 <13.4%>
(デンマーク)	百株	百株	千円		
NOVO NORDISK A/S-B	150	131	4,874	80,526	ヘルスケア
PANDORA A/S	35	33	3,291	54,379	一般消費財・サービス
デンマーク・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	185 2銘柄	164 2銘柄	8,166 134,906	134,906 <7.5%>
(スウェーデン)	百株	百株	千円		
ERICSSON LM-B SHS	—	200	1,293	17,145	情報技術
ELECTROLUX AB-SER B	150	115	2,620	34,752	一般消費財・サービス
SVENSKA CELLULOSA AB SCA-B	—	110	2,917	38,682	生活必需品
ASSA ABLOY AB-B	340	140	2,389	31,688	資本財・サービス
HEXAGON AB-B SHS	133	63	2,022	26,815	情報技術
スウェーデン・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	623 3銘柄	628 5銘柄	11,243 149,084	149,084 <8.3%>
ユーロ (アイルランド)	百株	百株	千円		
GLANBIA PLC	—	40	66	8,215	生活必需品
KERRY GROUP PLC-A	39	39	315	38,714	生活必需品
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	39 1銘柄	79 2銘柄	382 46,930	46,930 <2.6%>
ユーロ (オランダ)	百株	百株	千円		
UNILEVER NV-CVA	170	155	624	76,751	生活必需品
RELX NV	276.84	200	308	37,923	一般消費財・サービス
ASML HOLDING NV	—	15	132	16,260	情報技術
GEMALTO	24	24	134	16,482	情報技術
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	470.84 3銘柄	394 4銘柄	1,200 147,417	147,417 <8.2%>

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ (ベルギー)	百株	百株	千円		
ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV	15	21	239	29,400	生活必需品
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	15 1銘柄	21 1銘柄	239 29,400	29,400 <1.6%>
ユーロ (フランス)	百株	百株	千円		
KERING	22	11	159	19,581	一般消費財・サービス
DANONE	—	20	125	15,454	生活必需品
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	25	22	316	38,852	一般消費財・サービス
ACCOR SA	—	25	100	12,284	一般消費財・サービス
CAPGEMINI	37	—	—	—	情報技術
VALEO SA	7	—	—	—	一般消費財・サービス
ZODIAC AEROSPACE	28	—	—	—	資本財・サービス
ESSILOR INTERNATIONAL	—	13	152	18,735	ヘルスケア
DASSAULT SYSTEMES SA	39	26	184	22,686	情報技術
SAFRAN SA	66	—	—	—	資本財・サービス
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	224 7銘柄	117 6銘柄	1,038 127,594	127,594 <7.1%>
ユーロ (ドイツ)	百株	百株	千円		
BAYER AG-REG	39	11	94	11,570	ヘルスケア
SIEMENS AG-REG	—	45	439	53,993	資本財・サービス
GEA GROUP AG	50	70	288	35,401	資本財・サービス
CONTINENTAL AG	11.7	—	—	—	一般消費財・サービス
HENKEL AG & CO KGAA VORZUG	10	—	—	—	生活必需品
SAP SE	—	30	217	26,755	情報技術
FRESENIUS MEDICAL CARE AG &	—	20	155	19,096	ヘルスケア
DAWLER AG-REGISTERED SHARES	95	49	298	36,641	一般消費財・サービス
INFINEON TECHNOLOGIES AG	230	230	303	37,299	情報技術
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	435.7 6銘柄	455 7銘柄	1,797 220,758	220,758 <12.3%>
ユーロ (スペイン)	百株	百株	千円		
AMADEUS IT HOLDING SA-A SHS	39	39	160	19,754	情報技術
MELIA HOTELS INTERNATIONAL	—	170	187	22,996	一般消費財・サービス
INDUSTRIA DE DISENO TEXTIL	129	—	—	—	一般消費財・サービス
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	168 2銘柄	209 2銘柄	348 42,751	42,751 <2.4%>
ユーロ (イタリア)	百株	百株	千円		
LUXOTTICA GROUP SPA	76	—	—	—	一般消費財・サービス
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	76 1銘柄	— —	— —	— <—>
ユーロ (フィンランド)	百株	百株	千円		
NOKIA OYJ	—	380	190	23,427	情報技術
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	— —	380 1銘柄	190 23,427	190 23,427 <1.3%>
ユーロ (オーストリア)	百株	百株	千円		
PALFINGER AG	—	8	20	2,534	資本財・サービス
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	— —	8 1銘柄	20 2,534	2,534 <0.1%>
ユーロ通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,428.54 21銘柄	1,663 24銘柄	5,217 640,814	640,814 <35.7%>
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,538.54 38銘柄	4,676 48銘柄	— 1,722,860	— 1,722,860 <95.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ欧州輸出関連株マザーファンド

■投資信託財産の構成

2016年5月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,722,860	% 95.6
コール・ローン等、その他	79,325	4.4
投資信託財産総額	1,802,186	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月27日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=160.99円、1スイス・フラン=110.99円、1デンマーク・クローネ=16.52円、1スウェーデン・クローネ=13.26円、1ユーロ=122.81円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,777,629千円)の投資信託財産総額(1,802,186千円)に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,802,186,402円
コール・ローン等	62,502,783
株式(評価額)	1,722,860,735
未収入金	11,739,430
未収配当金	5,083,454
(B) 負債	5,010,983
未払解約金	5,000,000
その他未払費用	10,983
(C) 純資産総額(A - B)	1,797,175,419
元本	2,260,964,636
次期繰越損益金	△ 463,789,217
(D) 受益権総口数	2,260,964,636口
1万口当り基準価額(C/D)	7,949円

*期首における元本額は2,199,966,303円、当期中における追加設定元本額は264,644,180円、同解約元本額は203,645,847円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ欧州輸出関連株ファンド(為替ヘッジあり)1,922,562,722円、ダイワ欧州輸出関連株ファンド(為替ヘッジなし)338,401,914円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は7,949円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は463,789,217円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月28日 至2016年5月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	28,966,840円
受取配当金	28,950,811
受取利息	19,307
支払利息	△ 3,278
(B) 有価証券売買損益	△283,406,354
売買益	46,229,479
売買損	△329,635,833
(C) その他費用	△ 591,862
(D) 当期損益金(A + B + C)	△255,031,376
(E) 前期繰越損益金	△192,159,508
(F) 解約差損益金	31,445,847
(G) 追加信託差損益金	△ 48,044,180
(H) 合計(D + E + F + G)	△463,789,217
次期繰越損益金(H)	△463,789,217

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。